



令和5年度第1回特別展

# お札が変わる!なぜ変わる?

お札の知られざる歴史を探ろう



解説書



独立行政法人国立印刷局

## お札と切手の博物館



# お札が改刷されるまで

デザインや製造技術を新しくしてお札を改めて発行することを「改刷」と言い、日本では、2024年7月前半にお札の改刷を予定しています。

ここでは、新しいお札がどのようにして決まり、どのように発行日を迎えるのかについて見てみましょう。

## ①改刷の決定

今のお札が発行されて20年近くになります。そのため、新しいデザインや技術を使ったお札を発行することで偽札が作られないようにします。

## ②お札のデザインの決定・発表

新しいお札のデザイン案は、国立印刷局の工芸官と呼ばれる専門の職員によって作られます。

これを、日本銀行（お札の発行元）と国立印刷局（お札の製造元）、そして財務省（国）とで相談し、最終的に財務大臣が決定します。

新しく発行されるお札のデザインイメージは、平成31（2019）年4月9日に財務大臣によって発表されました。



## ③お札の製造

デザインが決定されると新しいお札の製造準備に移ります。印刷準備が整った令和3（2021）年9月、国立印刷局の製造工場に財務大臣や日本銀行総裁（日本銀行のトップ）などが参列して、印刷開始式が行われました。

その後、お札の製造が開始され、出来上がったお札は、日本銀行へ納められます。

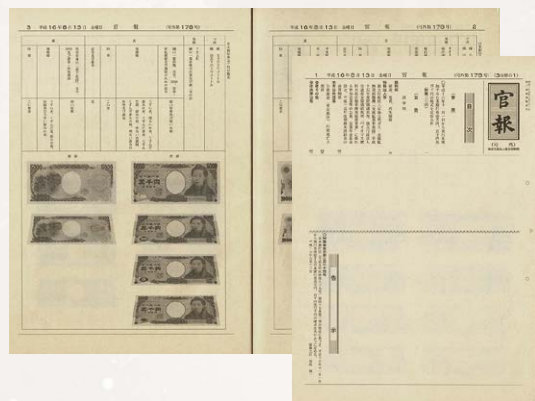


## ④発行日の公表

お札の発行開始日が決まったら最終的なデザインとともに、財務省からのお知らせとして官報（国の機関紙）に掲載されるほか、新聞やニュースなどでも報道されます。

## ⑤新しいお札の発行

国立印刷局から日本銀行に納められたお札は、市中の銀行を通じて会社やお店などに渡り、皆さんの手に届きます。





# お札が改刷されるのはなぜ？

改刷の一番の理由は、長く同じお札を使っていると、その間に世の中の技術が発達し、偽札が作られる危険性が高まってくる、または、作られてしまうからです。

ここでは、これまでの日本のお札がどのような理由で改刷してきたのか見てみましょう。

## 偽札が作られてしまったから改刷

### ●ケース1

明治32(1899)年に発行されたお札は、肖像としっかりした枠模様が特徴です。これらの図柄に比べ、肖像の周りの図柄がぼんやりしていたために偽物との区別が付きにくかったことで、写真技術を悪用して偽札が多く作られたため、改刷されることとなりました。



日本銀行兌換券 甲5円  
明治32(1899)年

### ●ケース2

日本銀行券B1000円は、昭和25(1950)年に発行されたお札ですが、昭和36年から38年にかけて偽札が全国的に多く発見される事件が起こりました。この偽札には、それまで偽札を作らせないために使われてきた凹版印刷(金属板に彫刻した線の凹みにインキを詰めて強い圧力で紙に写し取る印刷技術)が使われていました。

そのため、新たな技術を使ってお札を作ることが必要となりました。

### ●ケース3

日本銀行券Cシリーズと呼ばれるお札が発行されたのは、各種産業が発達して国民生活が豊かになった時代でした。前のお札の偽札が多く発見されたことから、これらのお札には、線の途中で色が切り替わっていくように印刷できる技術をはじめとした当時の最新技術が使われました。

発行当初は偽造防止効果が高いものでしたが、やがて発達した写真技術による5000円の偽札が作られてしまいました。

黒くはっきりした図柄は写真に写りやすかったんだね。



日本銀行券 B1000円  
昭和25(1950)年



日本銀行券 C5000円  
昭和32(1957)年



## お札の名前が変わったから改刷

お札の正式な名前は、「日本銀行券」です。これを題号と呼んでいて、お札にも書かれています。

題号は、お札にかかわる制度の変更とともに変わったため、改刷が行われました。



お札の題号

## ★お札の制度と題号の変化

### 銀兌換制度



日本銀行兌換銀券 (明治18年～)

### 金兌換制度



日本銀行兌換券 (明治32年～)

### 管理通貨制度



日本銀行券 (昭和18年～)

兌換というのは、お札を同額のコイン(硬貨、金属でできたお金)と取り換えることをいいます。

兌換制度のもとでは、兌換銀券は銀貨と、兌換券は金貨と希望すればいつでも取り換えられ、お札の価値をコインが保証することで、お札に対する信用を得ていました。兌換銀券や兌換券は、発行できる数を交換できるコインの量に左右されましたが、その後、管理通貨制度によって、お札の価値を法律で保証し、その発行量も自由に決められるようになりました。

## 経済の状態が悪化して改刷

生活に必要な物資が不足することで物価(モノやサービスの価値)が上がり続ける状態をインフレーションといいます。日本では、第二次世界大戦(昭和14(1939)年～20年)が終わったころには、インフレーションという状況になっていました。

そこで、それまで使われてきたお札を使用禁止にして新しいお札との入れ替えを行い、世に出回るお札の量を調節することでモノとお札の量のバランスを取って物価を安定させようとなりました。

この改刷のことを新円切り替えといいます。



日本銀行券A100円 昭和21(1946)年

ところで、改刷の回数  
が一番多いのは何円  
だと思っ





## 残念な理由で改刷

### ●ケース1

明治18(1885)年から19年にかけて発行されたお札は、日本銀行が発行したお札の第一号で、図柄に大黒が描かれていることから、「大黒札」と呼ばれています。

このお札は、写真技術で偽札が作られないよう、当時は写真に写りにくい青いインキで図柄を印刷したのですが、このインキに含まれる鉛の成分が化学変化により黒く変色することがありました。また、お札を丈夫にするために紙の材料として入れたコンニャク粉が原因で虫やネズミに食べられることが起こってしまうという、お札自体に不備があったことが原因で改刷となってしまいました。



日本銀行兌換銀券旧10円  
明治18(1885)年

### ●ケース2

日本銀行兌換券乙5円は、前代の5円の偽札が多く作られたため、改刷されたお札です。

このお札は、当時の写真技術を使った偽札づくりに対抗するために、海外のお札を参考に、印刷しない部分にすかしを入れるほか、細かい色のついた繊維を入れるといった用紙に工夫を凝らしたものでした。

しかし、このすかし部分の紙が薄く破れやすかったこと、また、国民から印刷ミスと誤解されてしまったことから、当時の最新技術を取り入れたお札でありながら、まもなく改刷することとなってしまいました。



日本銀行兌換券 乙5円  
明治43(1910)年

答えは5円。

これまでで8回  
改刷しているの。



### ●番外編

日本が西洋式のお札が作れるようになる前の明治時代の初め、外国にお札の製造を依頼していたことがありました。

新紙幣というドイツ製のお札は紙が弱かったため、破れてしまうことが多かったのですが、追加で注文するにも海外輸送の費用がかかるため、日本国内でお札を製造しようとする動きにつながりました。



新紙幣 金10円  
明治5(1872)年



# あたら さい しょう かい 新しいお札の紹介

2024年7月前半に発行予定の新しいお札は、偽造防止技術(偽札を作らせないための技術)を新しく加えるほか、現代の考え方に合わせた図柄や誰もが使いやすいようなデザインを取り入れたものとなっています。

## まん えん 1万円



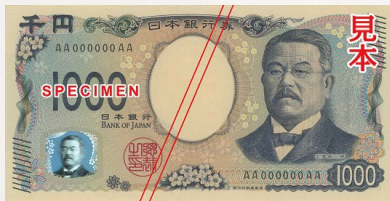
表面の肖像 渋沢栄一(明治時代の実業家)  
裏面の図柄 東京駅(丸ノ内駅舎)

## せん えん 5千円



表面の肖像 津田梅子(女子高等教育に力を尽くした)  
裏面の図柄 フジ

## せん えん 千円



表面の肖像 北里柴三郎(伝染病研究を行う)  
裏面の図柄 葛飾北斎作『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』

## あたら さい つか ぎ ぞう ぼう し ぎ じゅつ 新しくお札に使われる偽造防止技術

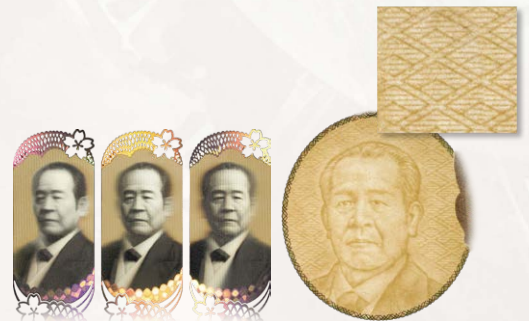
これまでのお札に使われている技術に新しい偽造防止技術が加わり、これまで以上に本物のお札を真似しづらくなっています。

### ○高精細すき入れ

肖像の背景にきわめて細かいすき入れ模様が入っています(右図)。

### ○3Dホログラム

お札を傾けると立体的な肖像が回転します。この技術をお札に採用したのは世界初です(左図)。

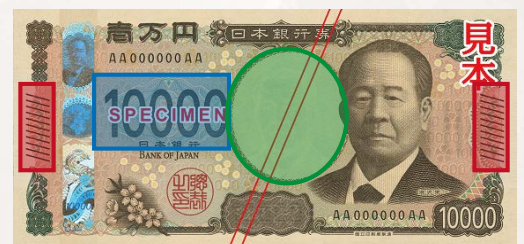


3Dホログラム

高精細すき入れ

## ユニバーサルデザイン

顔面数字の大型化や識別マーク・肖像のすき入れ位置を券種によって変えるなど、誰もが使いやすいような工夫がされています。





# 外国のお札の改刷

外国のお札の改刷はどうなっているのでしょうか？

ここでは、日本の改刷には見られない例を含め、海外の改刷の例を取り上げます。

## 君主交代で改刷

君主制(国王や首長などが国を治める国の形態)の国では、君主の肖像をお札の表面に描くところがあります。そのうち、イギリスでは、2022年に前国王のエリザベス女王が亡くなり、代わってチャールズ国王が即位したことから、肖像を新国王に変更して新しくお札を発行する予定となっています。



イギリス 10ポンド 2018年



イギリス 新10ポンド 2024年発行予定

日本では、お札の肖像に天皇が描かれたことはありません。明治時代に初めてお札に肖像を採用しようとした時に明治天皇を肖像とする案もありましたが、最終的に明治天皇の判断により、神功皇后(第14代仲哀天皇の皇后)の肖像となりました。

## ハイパーインフレで改刷

世界の国ではモノの値段が急激に上がるハイパーインフレーションが起こっています。

近年では、ジンバブエが有名です。誤った政策によって食料を始めとするモノ不足が原因で起こったインフレーションによって、2008年7月には、前の年に100円だったものが220万円ほどになるくらいの極端な値上がりが起こりました。このようにモノの価値が上がるとお金の価値は下がります。それとともにお札の額面の桁数はとても大きくなります。インフレーションが進んでいくとお札の価値はほとんど紙くず同然となります。2000年以降では、ジンバブエ以外にもベネズエラがハイパーインフレーションを経験しています。



ジンバブエ 100兆ドル 2009年



ベネズエラ 100万ボリバル 2021年

## 悪魔が見えるので改刷

1954年発行のカナダ2ドルは表面にエリザベス女王を描いたお札です。このエリザベス女王の髪の毛の表現が「悪魔の顔」に見えるというわさが広まったため、すぐに髪の毛の描き方を修正して改刷し直しました。



カナダ 2ドル 1954年



カナダ 2ドル 1956年

改刷の理由は色々だけど、一番は国民のみんなが安心してお札を使ってもらえるようにするためなんだ。  
そのために、偽札を作らせない技術が日々研究・開発されているんだよ。



### 参考文献

- 大蔵省印刷局『大蔵省印刷局百年史 第1巻・第2巻』 1971年
- 日本銀行調査局編『図録 日本の貨幣8・9』 東洋経済新報社 1975年
- 日本銀行発券局「日本銀行券の改刷」『日本銀行調査季報 2004年秋』 2004年
- 財務省「新しい紙幣・硬貨発行の意義と最新技術」『ファイナンス』2019年1月号
- 植村峻『紙幣肖像の近現代史』 吉川弘文館 2015年
- 植村峻『お札の文化史』 NTT出版 1994年
- 植村峻『偽札の世界史』 NHK出版 2004年
- 植村峻『贗札の世界史』 角川ソフィア文庫 2020年
- 田中哲二『お金の履歴書』 東京経済新報社 1984年
- 早川真悠『ハイパーインフレの人類学 ジンバブエ「危機」下の多角的貨幣経済』 人文書院 2015年

### インターネット

- 各国中央銀行ホームページ
- 外務省ホームページ

2023年7月19日水～8月27日日

令和5年度第1回特別展  
**お札が変わる!なぜ変わる?**

お札の知られざる歴史を探ろう

【発行日】 令和5年7月19日

【編集・発行】 独立行政法人 国立印刷局 お札と切手の博物館  
〒114-0002 東京都北区王子1-6-1

本書掲載の内容を許可なく複写、複製、転載することを禁じます。